

	達成目標	達成状況	評価	改善策
確かな学力	①国語科、算数科中心に学習の基礎基本を身につける	・全国学力調査：国語科104、算数科105と標準化得点を上回った。 ・県学力調査：国語科112、算数科112と標準化得点を上回った。	4	○基礎基本に加えて基礎基本を活用して解いたり、考えを書いたりする力を確実に習得させるために、結果分析を全教職員で行い、課題のある教科や単元を重点的に指導する。
	②学習規律の定着	・アンケート結果：教師、児童ともに7割以上の達成率		○毎月の重点指導項目を設定し、全校朝会で良さや伸びを称賛することで意欲の向上と改善を図る。
豊かな心	①いじめ、不登校の児童の課題に対し、家庭や地域と一体となり、問題の早期発見、早期解決を図る。	・いじめ事案2件（解決済）である。 ・不登校児童2名	3	○定期的な「いじめ・不登校対策委員会」における情報交換と、対応についての協議を充実させ、学校として組織的に取り組んでいく。
	②「道徳」を中心とした道徳教育人権教育	・全国学力学習状況調査：夢や目標をもっていきるが全国平均よりも5.1%上回っていた。		○道徳教育推進教師を中心とした教材研究や夢講演事業に全校で取り組み、将来に結び付く道徳教育を推進する。
	③相手の事を考えた行動（あいさつ・そうじ・スリッパならべ）	・アンケート結果、約8割以上ができたと回答		○全職員による指導の徹底と全校朝会や校内放送での称賛を継続し、相手意識をもって行動する児童を育てる。
健やかな体	①自ら運動に親しみ、体力作りができる	・新体力テストで全国平均を全学年がクリアできた。 ・運動が好きという児童が94%である	4	○新体力テストの結果分析から明確になった課題を基に全校での体力作りやウェブスポーツ指導員による効果的な指導を充実させていく。 ○一人一人がめあてをもって楽しみながら体力向上ができるよう学校行事と体育科学習を関連づけた取組を実施
教職員	①県教育論文及び町教育実践研究に1名以上が応募	・県論文町実践研究ともに1名ずつ応募することができた	3	○若年層を中心とした意図的、組織的な教育実践により日々の指導力向上に取り組む
	②働きやすいと思える教職員が8割以上	・アンケートにおいて71.4%の教職員が働きやすいと回答		○教職員一人一人の持ち味が発揮される校務分掌や勤務形態の吟味、思いや願いを日常的に把握する。人間関係の構築
地域連携	①地域・家庭と連携した学校づくりの推進（創立150周年事業実施）	・PTA活動の活性化 ・地域・保護者との連携の強化	4	○PTA各種委員会の開催 ○「子供の安全安心会議」の実施